

元気印の得意先訪問



株式会社ナベカン
株式会社ナベカン一級建築士事務所
代表取締役
渡辺 弘幸氏

練馬区を中心に、エンドユーザー向けのリフォーム事業から不動産業などまで幅広く手がけている株式会社ナベカン。渡辺社長は先進的な経営方針と、積極的に女性を活用した人材統率方法で新たな顧客層を次々に発掘している。斬新な取り組みにはどんな秘訣があるのかをお尋ねするため小泉中央の鈴木社長、萩原所長、三浦課長補佐とおうかがいした。

● 東京都練馬区桜台6-36-5

株式会社ナベカン

下請け工事はやりがいがない エンドユーザーから直接受注

水道工事専門店としてスタートした株式会社ナベカン。当時、練馬区一帯で下水道の普及が遅れていることに目をつけた先代が管工事の専門店として創業した。二代目の渡辺社長は管工事だけでなく、リリフォームなど多様な分野に進出し、経営手腕を精力的に発揮している。

「かつてはゼネコンさんなどからの下請け工事中心でしたが、ここ2年ほどお付き合いのある地元の工務店さんの依頼以外は請けていません。当社の仕事はおよそ95%がエンドユーザーさんからの発注。社名変更も、水道以外を手がけられることをアピールするため。事務所の移転もニーズのある地域への利便性を高めることが理由です」

元請けの仕事は下請け工事に比べて効率がよく、経営メリットが大きい。だが、理由はそれだけではないという。

施主さんと直接お話ができるから、我々のアイデアも通りやすい。つまり、やりがいのある仕事が圧倒的に多いのです。リフォームを手がけるために、準備も念入りに行いました。特に建築士や管工事施工管理技師といった資格を積極的に取得しています。もちろん費用は会社で負担。名刺をお渡しするときに資格という肩書があることは、お客様の安心感に直結するんです」受注する仕事の幅を広げるに当たつても渡辺社長の戦略的な経営方針がある。

「不動産業の資格も取得しました。建物軒、一棟のリノベーションなども手がけようと考えています。貯水タンクを使わない、集合住宅の直結給水工事を1棟まるごと行う、東京都水道局の『おいしい水プロジェクト』の工事も受注しましたが、これは小泉さんとのつながりをもとに、いざみテクノスさんに協力いただいたおかげです」

小泉とのつながりも上手く活用していただいているが、そんな時のパイプ役となっているのが担当する三浦課長補佐だ。

「現場で品物がなくて困っているときに届けてもらったりと、いつもこちらに向いた仕事をしてもらっています。萩原所長を含め、皆さんのがいつも一生懸命で、会合などのご案内などもマメに連絡していただけますから、とても助けられていますね」

▶元気印の得意先訪問



①②事務所にはショールームを併設。TOTOのリモデルクラブになった時も、小泉が窓口としてお手伝いしたという。③フルマラソンのタイムは4時間を取り、トライアスロンも3度経験するなど、スポーツマンの渡辺社長。「安心・安全・信頼」が経営理念だ。朗らかな人柄に影響されてか、社内も笑顔が絶えない。④顧客の多くはリビーターや、ネットを見た人たち。ホームページは技能を持つ女性社員が専門で作成。看板の版やチラシ、冊子なども作るマルチプレイヤーだ。⑤渡辺社長は東京都管工事組合の支部長を務めているだけでなく、消防団など地域への社会貢献にも積極的。ショールームにはAEDも完備している。

好きなときに自由に働ける 女性社員が働きやすい環境

従業員は17人。現場に携わる4人で管工事を行い、リフォームなどの分野は協力会社にお願いしているというが、人材統率という点でも渡辺社長の慧眼が表れている。

「当社では子育て世代の女性社員が重要な戦力なのですが、彼女たちが働きやすい環

対エンドユーモーの仕事は やりがいにあふれている 社員の士気も上がるんです



株小泉中央
練馬営業所
課長補佐
三浦政人

常に前向きな考え方をお持ちで、しかも努力家で勉強家でもある渡辺社長。しかし仕事ばかりというわけではなく、スポーツやレジャーなど実に多趣味な方でもあります。新人時代から10年以上担当しておりますが、本当にいろいろな影響を社長からさせていただいています。

「極論を言えば、携帯やメールでお客さんと上手く連絡を取り合ってくれれば、それでいいんです。当社の女性社員は本当に優秀ですが、自由にやつてもらうとさらに才能を發揮してくれる。エンドユーモーさん向けの仕事は特にやりがいがあるので、お客様に対しても彼女たちがさまざまな提案をしてくれています。リフォーム分野の仕事を増やしている理由は、そういった社員のモチベーションを高めるためという側面もあるんです」

境を作る努力をしています。女性は家庭やお子さんの都合でなかなかフルタイムで働きづらいだけに、仕事さえきつちりしてくれれば、出勤しやすいときに出勤してくれればいいという方針にしています。ありがたいことに離職者はとても少ないです」国内では大企業でも成功例が少ないフレックスタイム制を上手く使いこなしているところにも、渡辺社長とナベカン社員の皆さんの非凡さがある。

「極論を言えば、携帯やメールでお客さんと上手く連絡を取り合ってくれれば、それでいいんです。当社の女性社員は本当に優秀ですが、自由にやつてもらうとさらに才能を發揮してくれる。エンドユーモーさん向けの仕事は特にやりがいがあるので、お客様に対しても彼女たちがさまざまな提案をしてくれています。リフォーム分野の仕事を増やしている理由は、そういった社員のモチベーションを高めるためという側面